

# 平成16年度 定期作況報告

(7月20日現在)

北海道立中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業科 (岩見沢市)

## 気象概況

6月下旬：平均気温は平年より2.2 高く、日照時間は平年の62%、降水量は平年の116%で、高温寡照に経過した。

7月上旬：平均気温は平年より0.8 低く、日照時間は平年の97%、降水量は平年の213%であった。

7月中旬：平均気温は平年より0.5 低く、日照時間は平年の118%、降水量は平年の171%であった。

以上、1ヶ月を平均すると、気温は平年並で、降水量は平年より多く、日照時間は平年よりやや寡照に経過した。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(°C)	24.1	22.1	2.0	22.0	22.7	0.7	24.1	24.6	0.5	23.4	23.1	0.3
最低気温(°C)	15.7	13.3	2.4	14.4	15.3	0.9	16.2	16.6	0.4	15.4	15.1	0.4
平均気温(°C)	19.9	17.7	2.2	18.2	19.0	0.8	20.1	20.6	0.5	19.4	19.1	0.3
降水量(mm)	25.5	22.0	3.5	81.5	38.2	43.3	67.5	39.6	27.9	174.5	99.8	74.7
日照時間(hr)	36.9	59.9	23.0	39.0	40.4	1.4	56.9	48.3	8.6	132.8	148.6	15.8

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成6年～15年10ヶ年平均値を農試が算出し使用。

最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

## 作 況

水稻 作況：良

事由：平年に比べ、幼穂形成期は4～5日、止葉期は3～4日早かった。7月20日における草丈は、「きらら397」で平年比104%と平年を上回り、また「ほしのゆめ」では98%とほぼ平年並であった。茎数は「きらら397」は平年比118%、「ほしのゆめ」は129%と平年を大幅に上回った。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	幼穂形成期(月.日)			止葉期(月.日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	7.04	7.08	4	7.19	7.23	4
ほしのゆめ	7.01	7.06	5	7.17	7.20	3

品種名	草丈(cm)			茎数(本/m <sup>2</sup> )			主稈葉数(枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	57.2	54.9	2.3	810	688	122	11.0	10.7	0.3
ほしのゆめ	59.6	60.9	1.3	865	668	197	10.0	10.0	0.0

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成10年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均

注2) 平成14年より従来の泥炭土圃場から奨励品種決定調査圃場であるグライ土圃場に移動した。

注3) 耕種概要

土 壤 細粒グライ土  
 施 肥 高度化成472全層施肥 N - P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1.5t/10a  
 播 種 量 中苗紙筒 = 180cc/箱  
 栽 植 密 度 30 × 13.3cm 25株/m<sup>2</sup> 4本植え  
 移 植 方 法 手植え  
 反 復 : 2

# 畑作の部

畑作科 (長沼町)

## 気象概況

6月下旬：気温は最高・最低とも著しく高かった。30日に32mmの降雨があったため、降水量は平年より多かった。日照時間は少なかった。なお、22日に台風6号より変わった温帯低気圧の影響で強風にみまわれた。

7月上旬：気温、降水量、日照時間とも、ほぼ平年並であった。

7月中旬：気温は平年並であった。降水量は少なく、日照時間はやや多かった。

以上、1ヶ月を通じ、気温は6月下旬が著しく高かったため平均するとやや高かった。降水量はほぼ平年並で、日照時間はやや少なかった。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	18.6	16.4	2.2	17.6	17.8	0.2	19.5	19.6	0.1	18.6	17.9	0.7
最高気温(℃)	23.4	20.7	2.7	21.3	21.5	0.2	23.3	23.7	0.4	22.7	22.0	0.7
最低気温(℃)	15.5	12.9	2.6	14.2	15.0	0.8	16.5	16.4	0.1	15.4	14.8	0.6
降水量(mm)	40.5	18.6	21.9	46.5	46.8	0.3	14.0	36.8	22.8	101.0	102.2	1.2
降水日数(日)	2.0	3.2	1.2	4.0	4.1	0.1	3.0	3.4	0.4	9.0	10.7	1.7
日照時間(hr)	31.9	47.8	15.9	32.3	30.5	1.8	39.9	35.8	4.1	104.1	114.1	10.0

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成6年～15年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成16年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

## 作況

### 1. 秋まき小麦 作況：やや良

事由：6月は高温、7月上中旬は平年並の気温に推移したため、「ホクシン」の成熟期は平年に比べ1日早かった。7月20日現在の生育は「ホクシン」では穂数は平年並、稈長と穂長は長く、「ホロシリコムギ」では穂数は多く、稈は長く、穂長は平年並であった。稈長が高く、穂数も多めだったことから7月上旬の降雨により倒伏が発生した。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	成熟期(月.日)			倒伏程度			稈長(cm)			穂長(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	-	7.21	-	4.0	0.8	3.2	106	97	9	9.0	8.7	0.3
ホクシン	7.16	7.17	1	4.0	0.5	3.5	98	88	10	10.0	8.6	1.4

品種名	穂数(本/m <sup>2</sup> )		
	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	710	533	177
ホクシン	639	616	23

注1)平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

注2)倒伏程度 成熟期における倒伏程度。0(無)~5(甚)の6段階評価。

### 2. 春まき小麦 作況：やや良

事由：播種が早く栄養生長期間が長かったため、生育は旺盛で、稈長は平年より長く、穂長はやや短いものの穂数は平年より多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	出穂期(月.日)			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m <sup>2</sup> )		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ハルユタカ	6.20	6.22	2	90	84	6	8.2	8.7	0.5	507	440	67

注)平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均。

### 3. 大豆 作況：良

事由：6月下旬は高温、7月上・中旬は平年並の気温で経過したことから、両品種とも主茎長が平年より高く、主茎節数で2節平年を上回った。また、開花期は「ツルムスメ」で平年より3日早かった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	7.17	7.20	3	56.7	42.3	14.4	12.1	10.2	1.9	6.2	5.2	1.0
ユウヅル	-	7.29	-	53.0	38.4	14.6	12.1	10.0	2.1	4.0	3.2	0.8
トヨムスメ(参考)	7.14	7.17	3	59.4	48.5	10.9	10.1	9.6	0.5	6.2	6.6	0.4
スズマル(参考)	7.19	7.28	9	52.9	38.0	14.9	12.4	9.7	2.7	8.6	6.7	1.9

注)平年値は前7か年中、平成12年(最豊)、14年(最凶)を除く5か年平均。

ただし、トヨムスメ スズマルは、前3か年の平均を平年とし参考値を示す。

### 4. 小豆 作況：良

事由：6月は高温、7月上・中旬は平年並の気温で経過し、降水量も期間を通じ平年並であったことから、生育は旺盛で、平年に比べ主茎長は高く、主茎節数および分枝数は多かった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨウズ	-	7.25	-	23.4	19.3	4.1	8.7	7.4	1.3	4.7	2.4	2.3

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

### 5. ばれいしょ 作況：やや良

事由：今期の気象は、概ねやや高温と平年並みの日照時間・降水量であった。前期までの順調な生育経過を反映して、開花始は6月21日で、平年より3日早かった。7月20日現在の生育は、茎長が平年比108%、茎数が109%と平年値を上回っている。また、特に目立った病害の発生は認められない。  
以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	開花始(月.日)			茎長(cm)			茎数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵薯	6.21	6.24	3	41	38	3	5.1	4.7	0.4

注)平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均。

### 6. てんさい 作況：良

事由：6月下旬後半が高温・乾燥に経過したため、生育はやや緩慢に進んだが、6月末の降雨により乾燥状態は解消された。7月上旬以降は平年並みの気象で経過したため、7月20日現在の生育は、前期までの平年を上回る良好な生育となり、草丈が平年比114%、葉数が平年比118%、根周が平年比116%と平年を上回っている。また、病害虫の発生はヨトウガが僅かに認められる。  
以上により、現在の作況は良である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			根周(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	62.8	55.2	7.6	25.8	21.9	3.9	26.5	22.9	3.6

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

### 7. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。